平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月26日

上場会社名　四国化成工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4099　URL　http://www.shikoku.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役会長 兼 C. E. O.　(氏名) 山下　矩仁彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員　企画・管理担当　(氏名) 富田　俊彦　TEL 0877-22-4111
四半期報告書提出予定日　平成24年2月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	30,250	△2.2	3,798	△12.7	3,820	△8.5	2,061	4.0
23年3月期第3四半期	30,933	4.7	4,352	20.3	4,173	15.9	1,982	△1.3

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　1,708百万円　(2.7%)　23年3月期第3四半期　1,664百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	35.26	―
23年3月期第3四半期	33.91	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	58,691	37,261	63.1	633.09
23年3月期	56,351	36,143	63.7	614.06

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　37,010百万円　23年3月期　35,902百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
24年3月期	―	5.00	―		
24年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	△0.1	5,200	△10.2	5,200	△7.3	3,000	8.8	51.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	58,948,063 株	23年3月期	58,948,063 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	488,487 株	23年3月期	480,612 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	58,463,297 株	23年3月期3Q	58,475,830 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

頁

１．当四半期決算に関する定性的情報.....2

(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....2

(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....4

(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....4

２．サマリー情報（その他）に関する事項.....4

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....4

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....4

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....4

３．四半期連結財務諸表.....5

(1) 四半期連結貸借対照表.....5

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....7

(3) 継続企業の前提に関する注記.....9

(4) セグメント情報.....9

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....9

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間(平成23年４月１日～平成23年12月31日)の我が国経済は、東日本大震災やタイ大洪水など、大規模な自然災害が相次ぎ、深刻な状況の下でスタートしました。サプライチェーンの復旧に伴い持ち直しの動きは見られたものの、欧州諸国の財政・金融危機が深刻化し、世界経済の下振れリスクが高まるに従って先行き不透明感が増しています。さらに歴史的な円高水準の常態化により、輸出競争力の低下や産業空洞化が懸念されており、当社グループにおいても極めて厳しい経営環境が続きました。

このような状況下、当第３四半期連結累計期間の売上高は302億50百万円（前年同期比2.2％の減収）、営業利益は37億98百万円（前年同期比12.7％の減益）、経常利益は38億20百万円（前年同期比8.5％の減益）となり、東日本大震災の影響による需要の落ち込みや、円高の影響を受け、前年同期に対して減収・減益となりました。

また、四半期純利益は20億61百万円（前年同期比4.0％の増益）となり、資産除去債務に関する会計基準適用による特別損失を計上した前年同期を上回りました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①化学品事業

(無機化成品)

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は円高の影響を受けましたが、販売は内外ともに好調に推移しました。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素は国内販売・輸出ともに安定して推移しました。浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、シェアの拡大と採算性の改善に努めました。

(有機化成品)

殺菌消毒剤シアヌル酸誘導品は円高の影響を受け、輸出が低調に推移しました。排水処理剤であるハイポルカは市場開拓に注力しました。

(ファイン　ケミカル)

プリント配線板向けの水溶性防錆剤であるタフエースは円高の影響を受け、輸出が伸び悩みました。エポキシ樹脂硬化剤を主用途とするイミダゾール類は、国内販売が伸び悩みました。

この結果、化学品事業の売上高は180億92百万円（前年同期比6.5％の減収)、セグメント利益は34億21百万円（前年同期比17.1％の減益)となりました。

②建材事業

住宅投資は低水準ながらも持ち直しの兆しがありますが、非住宅投資、公共投資を含めた建築需要全体では、依然として厳しい状況が続いております。

(壁材)

湿式壁材市場の停滞により、低調に推移しました。

(エクステリア)

景観分野の販売は前年並みで推移しましたが、住宅分野は前年を上回る水準で推移しました。

この結果、建材事業の売上高は115億42百万円（前年同期比6.3％の増収)、セグメント利益は14億77百万円（前年同期比12.9％の増益)となりました。

〔参考情報〕

【販売実績】

セグメントの名称	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	前年同期比(%)
化学品事業			
無機化成品　（百万円）	6,095	6,874	112.8
有機化成品　（百万円）	6,347	5,384	84.8
ファイン　ケミカル　（百万円）	6,914	5,833	84.4
小計　（百万円）	19,357	18,092	93.5
建材事業			
壁材　（百万円）	2,057	2,054	99.9
エクステリア　（百万円）	8,800	9,487	107.8
小計　（百万円）	10,857	11,542	106.3
報告セグメント計　（百万円）	30,215	29,635	98.1
その他　（百万円）	717	615	85.8
合計	30,933	30,250	97.8

（注）　上記の金額には消費税等は含まれておりません。

【海外売上高】

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）		当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	
	売上高（百万円）	連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	売上高（百万円）	連結売上高に占める海外売上高の割合(%)
アジア	5,053	16.3	5,007	16.6
北米	3,480	11.3	2,610	8.6
その他の地域	533	1.7	631	2.1
合計	9,067	29.3	8,249	27.3
連結売上高	30,933		30,250	

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産・負債及び純資産の状況）

総資産は、前連結会計年度末比23億39百万円増加し、586億91百万円となりました。主な増加は、現金及び預金17億45百万円、建設仮勘定12億67百万円、主な減少は、受取手形及び売掛金13億83百万円、投資有価証券３億15百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比12億21百万円増加し、214億29百万円となりました。主な増加は、長期借入金（１年内返済予定を含む）13億15百万円、主な減少は、未払法人税等４億35百万円であります。

純資産は前連結会計年度末比11億18百万円増加し、372億61百万円となりました。主な増加は、利益剰余金14億76百万円、主な減少は、その他有価証券評価差額金５億59百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の63.7%から63.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想は、当初の計画（平成23年４月26日発表）を変更しておりません。なお、下期の主要な為替レートは、77円／米ドル、105円／ユーロと想定しております。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,909	8,654
受取手形及び売掛金	13,487	12,103
商品及び製品	4,778	5,481
仕掛品	124	133
原材料及び貯蔵品	2,044	2,179
繰延税金資産	684	666
その他	55	149
貸倒引当金	△7	△2
流動資産合計	28,077	29,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,817	4,886
機械装置及び運搬具（純額）	2,747	2,444
土地	8,603	8,602
建設仮勘定	219	1,486
その他（純額）	483	373
有形固定資産合計	16,870	17,793
無形固定資産	139	236
投資その他の資産		
投資有価証券	8,927	8,611
繰延税金資産	1,686	2,026
その他	651	676
貸倒引当金	△0	△19
投資その他の資産合計	11,264	11,295
固定資産合計	28,274	29,325
資産合計	56,351	58,691

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,442	7,526
短期借入金	2,050	2,075
1年内返済予定の長期借入金	689	853
未払法人税等	1,101	666
役員賞与引当金	53	39
その他	3,100	3,613
流動負債合計	14,437	14,774
固定負債		
長期借入金	1,029	2,181
再評価に係る繰延税金負債	1,858	1,628
退職給付引当金	2,080	2,025
役員退職慰労引当金	276	284
資産除去債務	344	345
負ののれん	1	0
その他	180	188
固定負債合計	5,770	6,654
負債合計	20,208	21,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,741	5,741
利益剰余金	21,582	23,058
自己株式	△285	△288
株主資本合計	33,906	35,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257	△301
繰延ヘッジ損益	△0	0
土地再評価差額金	1,993	2,223
為替換算調整勘定	△254	△292
その他の包括利益累計額合計	1,996	1,630
新株予約権	39	39
少数株主持分	201	212
純資産合計	36,143	37,261
負債純資産合計	56,351	58,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
売上高	30,933	30,250
売上原価	19,088	19,082
売上総利益	11,845	11,168
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,175	2,096
広告宣伝費	514	474
給料	1,390	1,392
役員賞与引当金繰入額	38	39
退職給付費用	170	152
役員退職慰労引当金繰入額	35	35
研究開発費	790	745
その他	2,377	2,432
販売費及び一般管理費合計	7,493	7,369
営業利益	4,352	3,798
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	214	267
雑収入	42	22
営業外収益合計	262	297
営業外費用		
支払利息	38	34
売上割引	76	79
為替差損	317	154
雑損失	8	6
営業外費用合計	440	275
経常利益	4,173	3,820
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5	－
特別利益合計	5	－
特別損失		
固定資産除却損	35	53
投資有価証券評価損	314	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	313	－
特別損失合計	663	53
税金等調整前四半期純利益	3,515	3,766
法人税等	1,520	1,692
少数株主損益調整前四半期純利益	1,994	2,074
少数株主利益	11	12
四半期純利益	1,982	2,061

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,994	2,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△244	△559
繰延ヘッジ損益	6	1
土地再評価差額金	－	229
為替換算調整勘定	△92	△37
その他の包括利益合計	△330	△365
四半期包括利益	1,664	1,708
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,652	1,695
少数株主に係る四半期包括利益	11	12

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,357	10,857	30,215	717	30,933	－	30,933
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	1	172	174	△174	－
計	19,359	10,857	30,217	890	31,107	△174	30,933
セグメント利益	4,126	1,308	5,435	62	5,497	△1,145	4,352

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△1,145百万円には、セグメント間取引消去△０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,145百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,092	11,542	29,635	615	30,250	－	30,250
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	1	152	154	△154	－
計	18,094	11,542	29,636	768	30,405	△154	30,250
セグメント利益	3,421	1,477	4,899	40	4,939	△1,140	3,798

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△1,140百万円には、セグメント間取引消去０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,140百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。